

生活

旬のたべもの 海蘊もずく
 幼いものが美味。粘りに
 富んでやわらかく、三杯酢
 でつるりと食べます。カル
 シウムが豊富で、高血圧防
 止にも効用があるそう。

くらしのこよみ
 うつくしいくらしかた研究所

◎ 東京新聞

● 透析治療

慢性腎臓病のため腎不全になっ
 た患者さんは、体の老廃物の除去
 や、ナトリウム、カリウムといっ
 た体液の電解質の調整、さらに体
 内水分量の調節など、腎機能を代
 用する治療をしなければなりません



在宅医療のカルテ

ん。一般的には、透析機器のある
 病院に週に何度か通う必要があり
 ます。

Hさんは、こうした治療をもう
 二十年以上も続けています。病院
 の送迎車を利用して通院していま
 すが、自宅でこのような治療がで
 きれば、自分の時間に合わせた療
 養生活が送れるはずで

透析治療が必要な患者が、比較
 的安全に自宅で受けられる治療法
 として、腹膜透析があります。こ
 れは、腹腔内に透析用の管を留置
 して、透析液を還流させる方法

在宅という選択も

で、血液透析や腎臓移植に移行す
 る前の治療として用いられます。
 また、血液透析そのものを自宅で
 行うことも可能ですが、針を刺す

といった行為は自身や介助者が行
 わなければならず、透析中に起き
 る血圧の変動などにも対処できる
 環境が必要です。



人工呼吸器を自宅で使用する。
 自宅での透析治療も広がるか

二〇一三年末時点での国内の慢
 性透析患者は三十一万人を超え、
 なお増加しています。六十五歳以
 上の高齢者人口が増えていること
 が主な原因です。また、透析にい
 たる原因疾患で最も多いのが、糖
 尿病性のもので43・8%を占めて
 います。透析を避けるには、慢性
 腎臓病や糖尿病の予防を早期から
 行うことが重要なのです。

国内の慢性透析患者の治療は、
 通院による血液透析が大半を占
 め、腹膜透析を受けているのは全
 体の約3%、在宅血液透析につい
 ては0・1%程度です。高齢化社
 会における透析治療の方法を、患
 者の生活の質(QOL)や医療経
 済的な面からも検討することが今
 後の課題といえるでしょう。

(川崎高津診療所院長)
 次回回は四月七日掲載